

データヘルス計画の目標管理一覧表

関連計画	健康課題	達成すべき目的	課題を解決するための目標	初期値				中間評価値				最終評価時目標値	目標値	現状値の把握方法
				H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R5		
特定健診 等計画	・中長期疾患の脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の基礎疾患の重なりで高血圧が約7割を占める。	医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、重症化予防対象者を減らす	特定健診受診率60%以上	37.2%	35.8%	37.8%	36.0%					60.0%	60.0%	特定健診・特定保健指導結果(厚生労働省)
			特定保健指導実施率60%以上	37.5%	35.6%	34.5%	46.5%				60.0%	60.0%		
			特定保健指導対象者の減少率を維持する	39.7%	43.2%	38%	38.4%				40.0%	40.0%		
データヘルス計画 中長期	・メタボリックシンドローム予備群約20%、該当者約28%であり国、県平均より高い。 ・空腹時血糖の有所見者が増加傾向で、特に男性は健診受診者の約46%と高い。 ・糖尿病治療中の方の約35%はコントロール不良である。 ・慢性腎不全(透析無し)が医療費に占める割合が平成25年度と比べ平成28年度は約2倍になっている。	適正受診を推進し、重症化して入院する患者を減らす	一人あたり入院医療費の伸び率を8%未満とする	8.3%	-2.9%	6.4%	12.0%				8.0%	8.0%	KDBシステム	
		脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制する	脳血管疾患の総医療費に占める割合5%減少	3.0%	2.5%	2.5%	2.5%				2.8%	5.0%		
		虚血性心疾患の総医療費に占める割合5%減少	3.3%	2.7%	2.8%	3.3%				3.1%	5.0%			
				糖尿病性腎症による新規透析導入者数の割合の減少5%	6.6%	5.4%	4.6%	3.4%				93.5%	6.5%	
			脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	健診受診者の高血圧の割合減少5%(160/100以上)	3.4%	3.6%	4.2%	3.3%				3.2%	5.0%	あなみツール 特定健診・特定保健指導結果(厚生労働省)
		健診受診者の脂質異常者の割合減少5%(LDL160以上)		9.4%	9.3%	10.0%	9.2%				8.9%	5.0%		
		健診受診者の糖尿病有病者の割合減少5%(HbA1c6.5以上)		11.8%	14.1%	15.5%	15.9%				11.5%	2.5%		
		メタボリックシンドローム・予備群の割合減少25%		6.4%	1.6%	-6.7%	-3.1%				25.0%	25.0%		
				健診受診者のHbA1c8.0以上で未治療者の割合	0.44%	0.41%	0.42%	0.46%				0.43%	0.3%	
		短期	・子宮がんの標準化死亡が135.1と国と比較して高い。	がんの早期発見、早期治療	がん検診受診率 胃がん検診 30%以上	4.6%	4.5%	4.2%	4.4%				30.0%	30.0%
肺がん検診 30%以上	7.8%				7.5%	6.9%	7.1%				30.0%	30.0%		
大腸がん検診 30%以上	8.3%				7.8%	7.0%	6.8%				30.0%	30.0%		
子宮頸がん検診 30%以上	13.5%				14.0%	13.5%	14.1%				30.0%	30.0%		
乳がん検診 30%以上	24.6%				22.9%	23.2%	26.6%				30.0%	30.0%		
5つのがん検診の平均受診率											15.0%			
歯科検診(歯周病健診)	歯科検診の受診率 増加											15.0%		
	自己の健康に関心を持つ住民が増える	健康ポイントの取組みを行う実施者の割合5%以上						8.77%			5.0%	5.0%	鹿屋市健康増進課・高齢福祉課	
	・数量シェアH28年度75.1%	後発医薬品の使用により、医療費の削減	後発医薬品の使用割合80%以上	75.3%	79.3%	81.4%	81.9%				83.0%	83.0%	H28.H29市国民健康保険事業関係の実績の推移、H30~厚生労働省公表(9月診療分)	

※各市町独自の設定目標があればそれぞれ追加する

※H32にH31のデータで中間評価を行う。